

上総まちなか大学院／開講 <http://www.kofuza.com/html/act.html>

参加費無料

- ① 3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東埼灯台広場 ②4.11／過去から学ぶ・究極の安全&防災対策とは?! ③5.11／《現在》「フェーズフリーとは?」 ④6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる」 ⑤7.11／《過去》「展望室&FM局付き発電風車」 ⑥8.11／《現在》「フェーズフリーと防災食」 ⑦9.11／《未来》「森の防波堤の可能性(FS)」&討論 ⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の10次化」

⑨11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」

講師：イトーノリヒサ (イベント・バンキング(運)、CEO)

◇日時 2021年11月11日(木) 13:30~16:00

◇会場 いすみ市役所大原文化センター視聴覚室 (リアル定員20名)

いすみ市大原 7838 TEL 0470-63-1222

<https://map.goo.ne.jp/place/EMRFF8HA/map/>

【講座背景】「フェーズフリー」(phase-free)は、日常時の暮らしにおいて、非常時での局面(phase)での防災を特に気にすることなく(free)、災害にも備えること、ということが出来ます。それは、ある面で“保険”とも解釈できます。しかし、それはこれまでなかった保険です。何故なら、災害や被害を受けることがなくとも補償(カバー)してくれるからです。類似の言葉に「バリアフリー」がありますが、これは多くの人が知っており、今日では常識となりました。バリアフリーを「段差なし」というと、それだけになりますが、「バリアフリー」と呼ぶと、対象や適用が広がります。「フェーズフリー」も、日常時と非常時という局面の違いをなくして、いつでも役立つグッズやサービスと呼ぶことができます。例えば、非常時まで死蔵し備蓄するのではなく、日常時に購入在庫されるスーパーの商品棚を倉庫とするようなことです。さらに、幅広い「フェーズフリー」の適用を、身近な暮らしの中で発見&定着するために、数万のイベント入場者の自由行動を安全に快適に采配してきた、イトーノリヒサ氏とともに考えます。



⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする」

⑪11.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ

【目的】2021年の今年、東日本大震災の10年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能ないすみ市をみなさんとともに作りたと思います。



大原文化センターへのアクセス：JR外房線 大原駅下車、徒歩6分。アドレス：いすみ市大原 7838 TEL 0470-63-1222

【主催】一般社団法人 洸楓座／上総まちなか大学院《フェーズフリーアクションパートナーメンバーAP9021004》

【共催】イベント・バンキング運営組織委員会

【協賛】いたずら丸太工房・里山風景(木村廣志)、コスモ食品(株)、(株)光と風の研究所、一般社団法人 Tsumugi

【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼燈台クラブ

【問合せ】kofuza@gmail.com / 090-1268-5882 (佐藤建吉)

/ <http://www.kofuza.com/html/act.html>

